

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1 11 12 13 40 49	離職率が高く、職員の入れ替えが多い。入職後数日、もしくは数か月で辞めていく職員も居た。そのたびに他の職員らのモチベーションも下がる。	職員ひとり一人がやりがいをもって働ける職場づくり、働きやすい環境づくりの為にまずはキャリアアップによる職員おモチベーションの向上を図る。また、より職員の気持ち、思いの把握が出来る環境づくりを行う。職員それぞれのレベルに合わせた目標を持つ。	*来年度に向けて、人事考課機関を設定するため体系づくりを行う。 *各職員の思いや希望等を知るため、職員面談の機会を設け、管理者と一緒に各自の目標を設定する。 *職場環境の向上への取り組み(定期的な親睦会の開催、職場内外研修の機会の確保等)を施設全体で行う。	12ヶ月
2	23 24 25 26 27 28	小規模である環境や、少人数の利用者様の生活の場であること、また認知症を抱えておられること等により、職員と利用者さまの関係性が馴れ合いになりやすい。	すべての職員が認知症を正しく理解し、認知症を患った利用者さまが何に不安を感じ、何を求めているのかを考えケアできるホームになる。そのために毎月の部署会議にて勉強会の開催及び利用者情報の共有と適切なケアの検討、外部研修への参加を積極的に行っていく。	*毎月の部署会議にて ①認知症をテーマにした小勉強会の開催。 ②現利用者様の情報共有及び適切なケアの検討。 ③日々のケア提供における職員の不安や疑問の共有(ディスカッション)＝吐き出しの場づくり *名古屋認知症介護実践者研修、介護職員キャリアアップ研修への参加 *研修参加職員からのフィードバック研修の開催	12ヶ月
3	35	春・夏の年2回避難訓練を行っているが、ホーム内のみで行っているため、今後は運営推進会議などを利用し地域住民の方々及び消防署等の参加を頂きながら訓練等を行っていきたい。また、年2回の訓練のみで普段の職員及び利用者様の防災対策意識の低さは否めない。	来春の避難訓練は、地域住民の方及び消防所の方々の参加をお願いし、実施する。また、日ごろの防災対策意識を高めるために、利用者様を巻き込んで防災グッズの制作や備蓄品の試食会等を行う。	*防災対策委員会を設置し、施設全体で取り組めるように定期的に委員会を行っていく。 *運営推進会議にて訓練等の日程調整を行い、推進会議メンバーの参加できる日程を決める。また地域住民の方への参加協力への依頼や周知方法など検討を行う。 *消防署職員参加の訓練の実施方法等を確認する。 *防災対策マニュアルの見直し、防災グッズ・備蓄品等の確認を行い、足りないものは準備していく。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。